

バルコンの使い方

★御使用の際は本説明書をよくお読み下さい。

(1) 主剤と硬化剤の配合

1) 使用主剤と使用硬化剤の組合せ

	使用主剤名	使用硬化剤名	備考
組合せ	バルコン B	HA-2	

2) バルコンの主剤及び硬化剤は2層に分かれていることがあり、硬化剤はダマに見えることもありますので、秤量する前によくかき混ぜて下さい。

3) 主剤と硬化剤の配合比率

主剤と硬化剤を付属の混合容器又は適当な容器に下記割合で秤量して下さい。

	割合比率（重量比）	少量使用の場合
主剤	100	主剤5：硬化剤1 の割合で混合してください
硬化剤	20	

4) 秤量した主剤及び硬化剤をヘラでよく混合して下さい。

5) 混合したバルコンは、1～2時間位で硬化が始まりますので、1回の配合量は1～2時間内に使いきる量として下さい。

(2) 施工する面の処理

1) 油、グリース等の油脂類は溶剤を使用し拭き取り、酸、アルカリ等の薬品類は水洗いして下さい。尚、水分はバルコンの接着力を低下させるので施工面は充分乾燥して下さい。

2) 施工する面はグラインダー又はサンドペーパーを用いて新しい面を出して下さい。

(3) バルコンの施工

1) 下地処理した面に充分混合したバルコンをヘラなどですりこむように塗りつけてから、施工面の形状に応じて平らになるように埋めるか盛り上げて下さい。

この場合、必要箇所だけでなくその周りにも1cm幅位オーバーラップさせて塗って下さい。

2) 天井部、垂直部等に施工する場合、バルコンが垂れ落ちるおそれがありますので、ポリエチレンフィルム等を当てがい、接着テープで固定して下さい。

(4) 硬 化

バルコンは施工後3～4時間で硬まりますが、完全硬化させるには下記の養生期間が必要です。

1) 自然放置の場合

夏 期 3日以上
冬 期 (7℃以上) 7日以上

2) 加熱硬化の場合

下記の条件で使用する場合は赤外線ランプ或いはドライヤーの熱風等で1～2時間加熱して下さい。

- ・ 所定の自然放置養生が出来ない場合
- ・ 施工場所の気温が7℃以下の場合
- ・ 強度を必要とする場合
- ・ 腐食性薬液に直接触れる場合

尚、未硬化のバルコンが固まっている事を確認してから開始して下さい。

(5) 仕上げ

バルコンを加熱或いは自然放置して完全に硬化させた後、必要に応じてグラインダー、ヤスリのようなもので仕上げて下さい。

(6) 貯 蔵

バルコンは主剤、硬化剤共密封して冷暗所に保管して下さい。特に硬化剤は空気中の水分を吸収すると効力を失うことがありますから注意して下さい。

(7) バルコンの取扱い上の注意

バルコン用硬化剤は皮膚につくとかぶれることがありますからゴム手袋を使用して下さい。
もし、手などに付いた時は直ちに石鹼水で洗って下さい。
特にアレルギー体質の方は注意して下さい。

有限会社 片山工業

住 所 : 〒277-0812 千葉県柏市花野井 713-1
電 話 : 04-7131-7712